

計画段階評価について  
山陰道（小<sup>こ</sup>浜<sup>はま</sup>～田<sup>た</sup>万<sup>ま</sup>川<sup>がわ</sup>）  
第5回 説明資料

令和2年11月18日

国土交通省 中国地方整備局

1. これまでの計画段階評価の審議内容	・ ・ ・	2
2. 第3回意見聴取の概要	・ ・ ・	10
3. 第3回意見聴取の結果	・ ・ ・	14
4. 対応方針（案）の検討	・ ・ ・	25
5. 自治体への意見照会結果	・ ・ ・	29
6. 対応方針（案）のまとめ	・ ・ ・	32

# 1. これまでの計画段階評価の審議内容



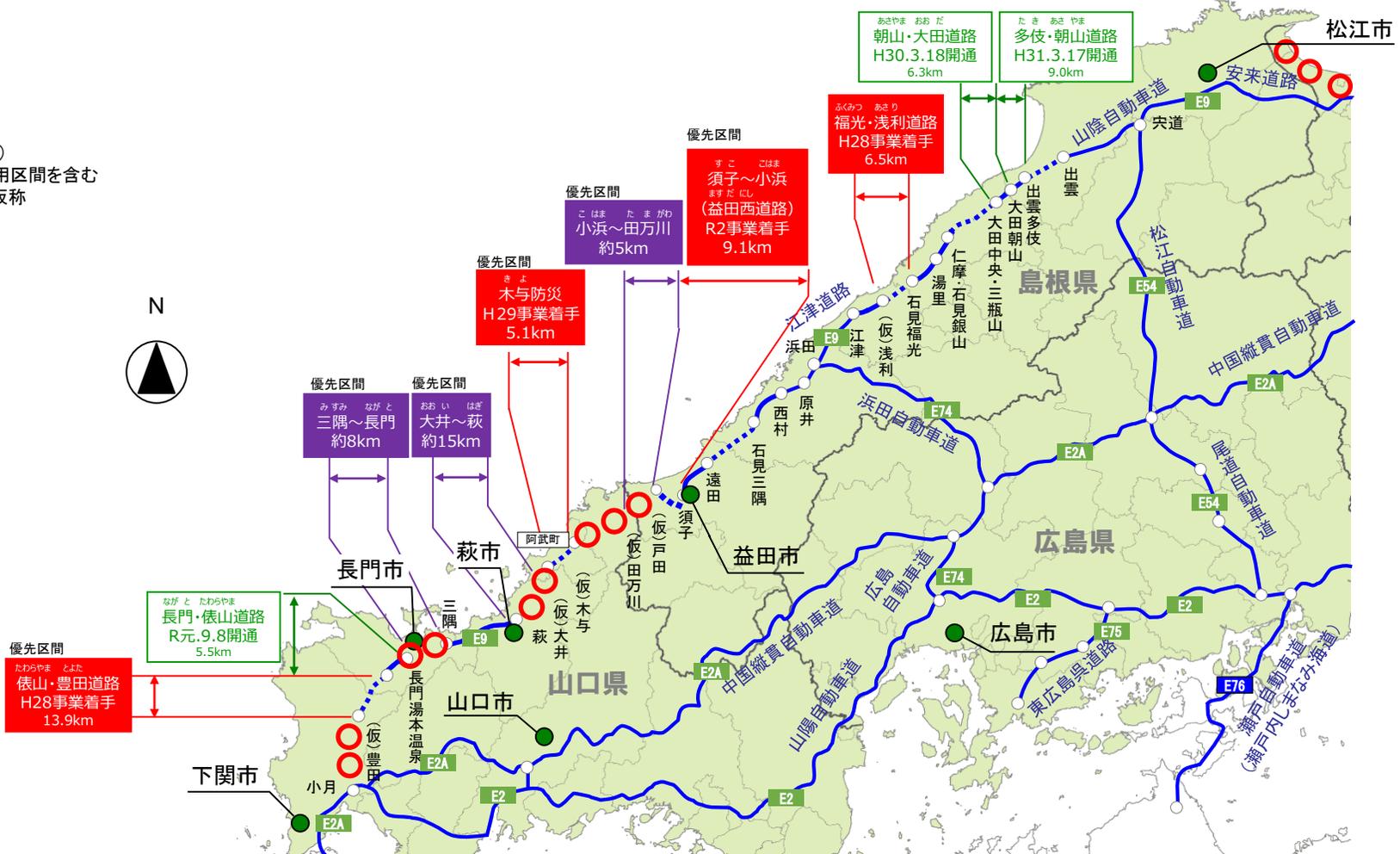
# 1. これまでの計画段階評価の審議内容

## 2) 山陰道（島根県、山口県区間）の進捗

- 島根県の朝山・大田道路はH29年度、多伎・朝山道路はH30年度に開通。山口県の長門・俵山道路はR元年度に開通。
- 須子～小浜間は、R元年12月に第4回地方小委員会を開催し、R2年度に益田西道路として事業着手。
- 小浜～田万川間は、R元年12月に第4回地方小委員会を開催し、小浜～田万川間の対策案に関する意見聴取を実施。
- 大井～萩間はH30年11月に第1回地方委員会を開催し、H31年1月に対応方針が決定。R2年3月、都市計画手続きに着手。
- 三隅～長門間は、H30年2月に第1回地方小委員会を開催し、地域、道路の課題に関する意見聴取を実施。

凡	例
高規格幹線道路	
—	開通済
---	事業中
○○	調査中

(R2.4現在の道路網)  
 ※一部当面現道活用区間を含む  
 ※事業中のIC名は仮称



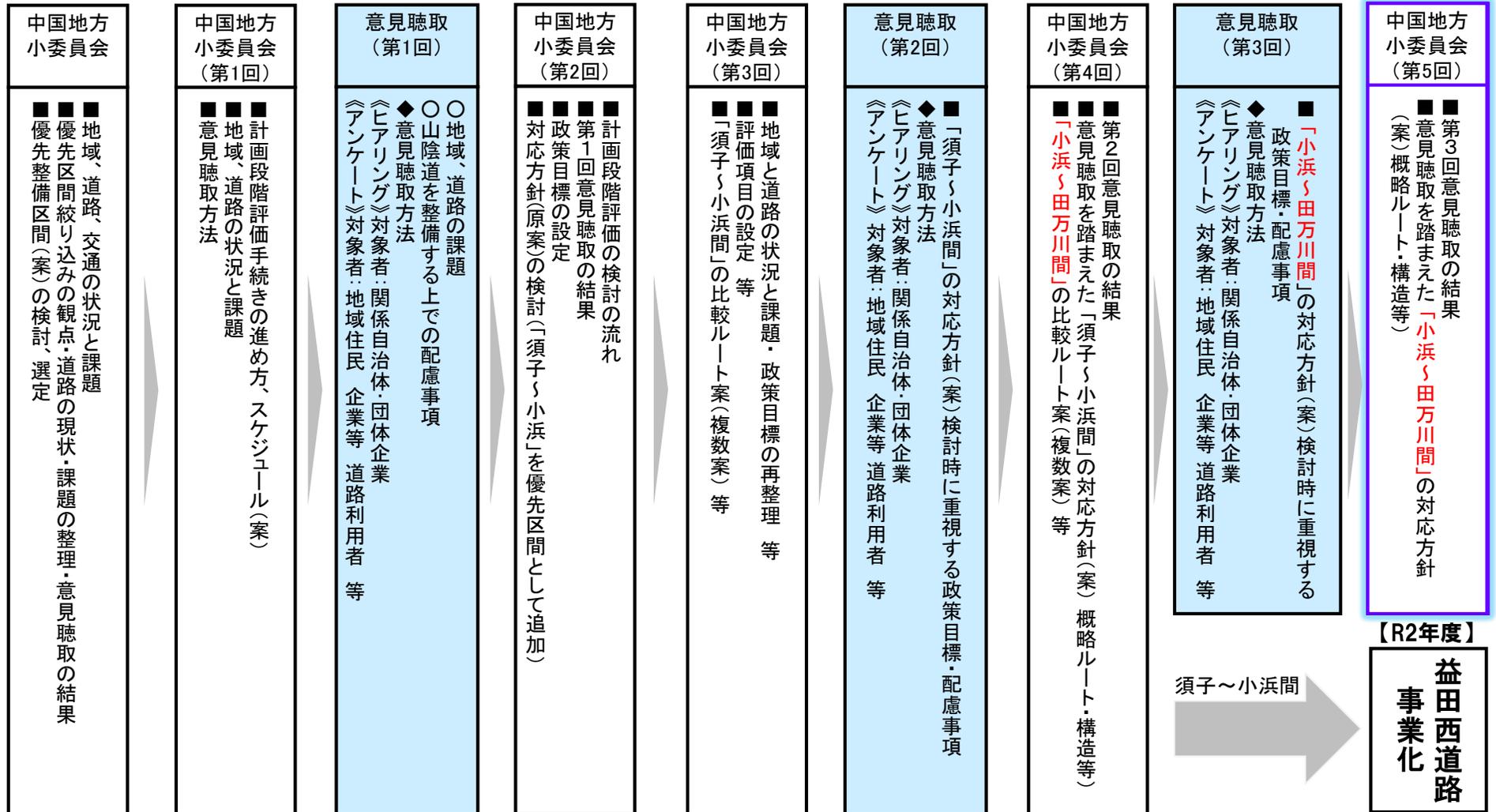
# 1. これまでの計画段階評価の審議内容

## 3) 計画段階評価の検討の流れ

### ■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

(今回)

【H27年4月】 優先区間絞り込み  
 【H28年6月】 中国地方小委員会(第1回)  
 【H28年11月～12月】 意見聴取(第1回)  
 【H29年8月】 中国地方小委員会(第2回)  
 【H30年11月】 中国地方小委員会(第3回)  
 【H31年3月～6月】 意見聴取(第2回)  
 【R1年12月】 中国地方小委員会(第4回)  
 【R2年3月～7月】 意見聴取(第3回)  
 【R2年11月】 中国地方小委員会(第5回)



対応方針の決定 (概略ルート、構造等)

【R2年度】  
益田西道路  
事業化

# 1. これまでの計画段階評価の審議内容

## 4) 前回審議内容

### ■令和元年度第1回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会の概要

実施日：令和元年12月5日（木） 開催

- 主な議事：①「須子～小浜間」対応方針（案）の決定  
②「小浜～田万川間」意見聴取の方法

### ■前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<p>・対策の方向性の異なる多様な案を提示しているため、今後の比較評価においては効果のほか、工期や交通規制、迂回路など、多様な観点での意見が想定される。意見のとりまとめにあたっては丁寧に行うこと。</p>	<p>【自由意見】 ※P21～23にて詳細説明 ・自由意見について、要望や懸念に分類し、質問1「特に重視すべき項目」以外の多様な意見にも着目して詳細な内訳を確認した上で整理</p>

# 1. これまでの計画段階評価の審議内容

## 5) 地域の将来像、地域の活動状況との整合性

項目	地域の将来像
通行止め時のネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"><li>○安全対策の推進 &lt;島根総合発展計画&gt;(H28.3)</li><li>○災害に強い県づくり推進プロジェクト &lt;やまぐち維新プラン&gt;(H30.10)</li><li>○自助・共助・公助の消防・防災体制を強化 &lt;益田市総合振興計画&gt;(H28.3)</li><li>○陸上交通災害予防計画 &lt;萩市地域防災計画&gt;(H31.3)</li></ul>
安全性・走行性の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>○安全対策の推進 &lt;島根総合発展計画&gt;(H28.3)</li><li>○暮らしの安心・安全確保 &lt;やまぐち維新プラン&gt;(H30.10)</li><li>○地域の安全対策を強化 &lt;益田市総合振興計画&gt;(H28.3)</li><li>○市民との協働による元気なコミュニティづくり &lt;第2期萩市総合戦略&gt;(R2.3)</li></ul>
産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"><li>○産業基盤の維持・整備 &lt;島根総合発展計画&gt;(H28.3)</li><li>○時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト &lt;やまぐち維新プラン&gt;(H30.10)</li><li>○市内の産業構造や基盤を強化 &lt;益田市総合振興計画&gt;(H28.3)</li><li>○地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成 &lt;第2期萩市総合戦略&gt;(R2.3)</li></ul>
観光振興の促進	<ul style="list-style-type: none"><li>○観光の振興 &lt;島根総合発展計画&gt;(H28.3)</li><li>○選ばれる観光目的地やまぐち実現プロジェクト &lt;やまぐち維新プラン&gt;(H30.10)</li><li>○観光・交流を促進 &lt;益田市総合振興計画&gt;(H28.3)</li><li>○観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進 &lt;第2期萩市総合戦略&gt;(R2.3)</li></ul>
救急医療機関への速達性・確実性の確保	<ul style="list-style-type: none"><li>○医療の確保 &lt;島根総合発展計画&gt;(H28.3)</li><li>○安心の医療・介護充実プロジェクト &lt;やまぐち維新プラン&gt;(H30.10)</li><li>○救急・医療体制の充実 &lt;益田市総合振興計画&gt;(H28.3)</li><li>○持続可能な医療体制の構築 &lt;第2期萩市総合戦略&gt;(R2.3)</li></ul>

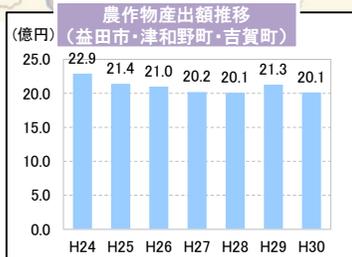
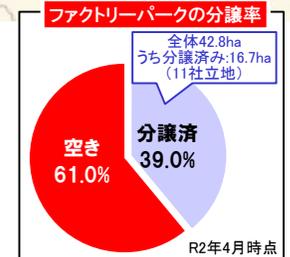
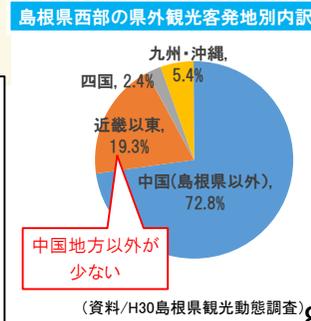
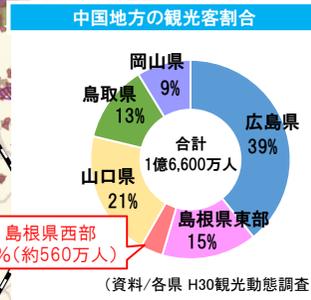
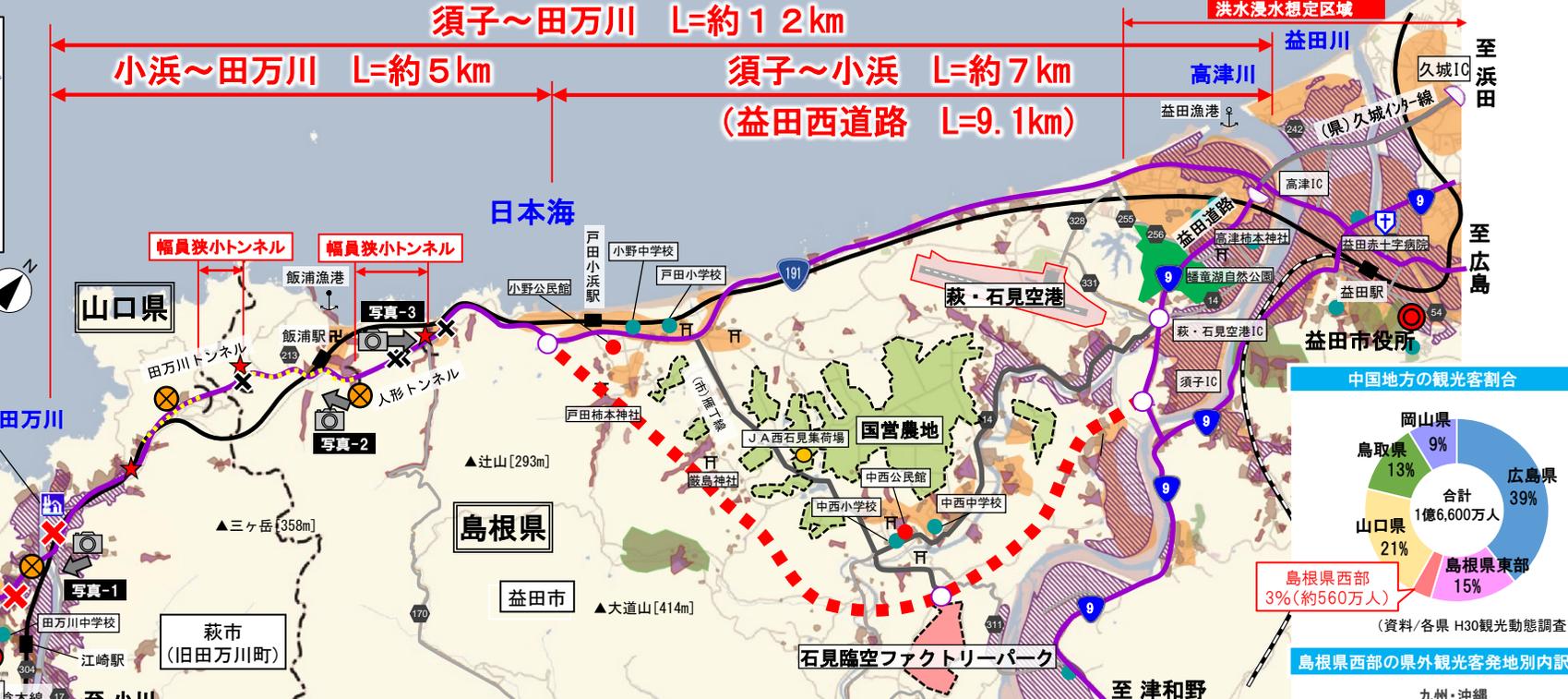
# 1. これまでの計画段階評価の審議内容

## 6) 地域課題

目標	通行止め時に機能するネットワークの確保	安全性・走行性の向上	産業の活性化	観光振興の促進	救急医療機関への到達性、確実性の確保
地域課題 道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>要防災対策箇所、土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域が点在。</li> <li>昭和58年災害、平成25年災害では、崩落や浸水による長時間の通行止めが発生。</li> <li>須佐及び田万川から益田市方面へは、通勤等、生活圏内であり結びつきが強い為、通行止め発生時には、大幅な迂回を強いられ市民生活及び企業活動に支障。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜～田万川間で、道路構造の不良箇所、幅員狭小トンネルが点在。</li> <li>小浜～田万川間で、道路構造不良区間及びトンネル内で死亡事故が発生。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>益田市の特産農作物の販路拡大が進んでいない。</li> <li>石見臨空ファクトリーパークの分譲率は39%と企業立地が進んでいない。</li> <li>アクセス道路の確実性、走行性、速達性の低さが、企業立地や事業拡大及び販路拡大の支障。</li> <li>道の駅「ゆとりパークたまがわ」は、地域活性化の拠点として位置づけられているが交流人口が少ないことが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>島根県西部地域の観光入込客数は少なく、観光ツアーも空白地となっている。</li> <li>萩市を訪れる九州や関東等からの観光客が、島根県西部地域まで周遊を行わない。</li> <li>観光地間の移動時間の長さや、空港へのアクセスのしにくさが、観光ツアー設定や、個人旅行者の周遊観光の支障。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>萩市の須佐地区、田万川地区及び阿武町には救急搬送に30分以上を要する高次救急医療の空白地あり。</li> <li>通行規制時の迂回や急カーブ等による患者への負担増加。</li> </ul>



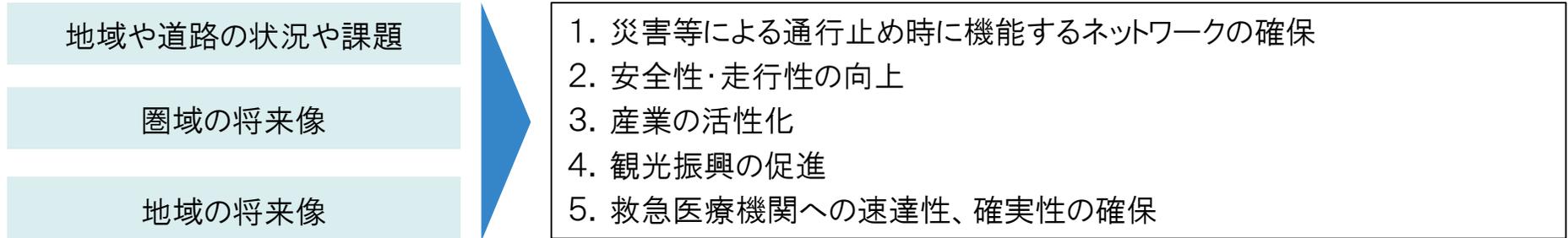
- 凡例
- 線形・勾配不良箇所
  - 要防災対策箇所
  - 災害による通行規制発生箇所 (H19～H29)
  - 事故による通行止め発生箇所 (H19～H29)
  - 死亡事故発生箇所 (H19～H29)
  - 洪水浸水想定区域
  - 高次医療施設
- 凡例
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
  - 土砂災害警戒区域 (土石流)
  - 土砂災害警戒区域 (地すべり)



## 7) 政策目標

### ■ 政策目標の設定

■ 地域の課題や自治体の総合計画を踏まえ、5つの政策目標を設定しこれらの目標を達成するための対策案を検討。



### ■ 対策案の検討

#### 【通行止め時に機能するネットワークの確保】

- ・ 通行止め時の代替路が確保されているか。
- ・ 要防災対策箇所及び洪水浸水想定区域を改善又は回避できるか。

#### 【安全性・走行性の向上】

- ・ 構造不良箇所が改善され安全性、走行性が向上できるか。
- ・ 死傷事故率が全国平均を上回る箇所の緩和または回避ができるか。

#### 【産業の活性化】

- ・ 企業活動や農産品輸送を支援する産業拠点への速達性が向上できるか。

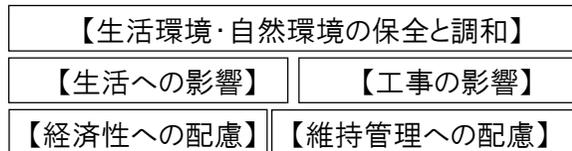
#### 【観光振興の促進】

- ・ 周遊性の向上を支援する観光拠点及び観光地間の速達性が向上できるか。

#### 【救急医療機関への速達性・确实性の確保】

- ・ 救急医療機関への速達性が向上できるか。
- ・ 代替路が確保され、确实性が向上できるか。

○ 対策案を検討する上でのその他の配慮事項



当該地域の道路の整備方針を検討  
(既存の道路ストックの活用も含め、複数の対策案を設定し検討)

## 2. 第3回意見聴取の概要

# 2. 第3回意見聴取の概要

## 1) 意見聴取の方法

### ■意見聴取の項目

<アンケート配布範囲> ※配布数は地域住民アンケート

#### ■調査期間

(アンケート) 令和2年3月～令和2年5月  
(ヒアリング) 令和2年6月～令和2年7月

#### ■調査方法

◎アンケート:

- ①住民は全戸配布、事業所は郵送配布
- ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
- ③HP上でのWEBアンケート

◎ヒアリング: 対面方式にて実施

#### ■対象



### ■質問内容

**【 質問票 】**  
(回答はがきに記載してください)

提示した小浜～田万川間の対策案に対して、みなさまが配慮すべき(重要)と思う事項等についてご意見をいただき、対応方針(案)決定の参考にします。

**質問1** 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を決定する際に、何が重要だと思いますか。  
以下の項目①～⑭から特に配慮すべき(重要)項目について最大3つまで選び、番号とその理由・内容をお書き下さい。

- ① 通行止め時の代替路が確保できること。
- ② 交通の安全性が向上できること。
- ③ 主要な産業拠点への速達性が向上できること。
- ④ 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。
- ⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。
- ⑥ 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。
- ⑦ 自然環境への影響が小さいこと。
- ⑧ 移転等が必要な家屋が少ないこと。
- ⑨ 集落との連絡性に優れること。
- ⑩ 工事中の交通規制等が少ないこと。
- ⑪ 建設に要する費用が少ないこと。
- ⑫ 効果発現までの期間が短いこと。
- ⑬ 維持管理に要する費用が少ないこと。
- ⑭ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書き下さい)

**質問2** 道路整備をすることによる懸念や配慮した方が良いと思う事(周辺への影響、経済性等)についてご意見などございましたら、ご自由にお書き下さい。

<b>地域住民アンケート(全戸配布・郵送) : 約22,000世帯</b>		
益田市	旧益田市	約19,700世帯
萩市	旧田万川町	約2,300世帯
	旧須佐町	
<b>事業所アンケート(郵送) : 約2,000社</b>		
地域住民アンケート全戸配布エリアに本店・支店・営業所のある企業		約2,000社
<b>道路利用者アンケート(常設) : 40箇所</b>		
常設	「道の駅」、官公庁等	40箇所
<b>道路利用者アンケート(インタビュー) : 21箇所</b>		
「道の駅」	島根県(益田市、津和野町、浜田市)、山口県(萩市、阿武町)に位置する「道の駅」	14箇所
観光地等	島根県(益田市、津和野町)、山口県(萩市)にある観光施設、空港	7箇所
<b>ヒアリング : 53団体(島根県、山口県、益田市、萩市、阿武町)</b>		
自治体、警察署・消防署・病院、農協、漁協、森林組合、商工会議所、観光協会、地元企業・工場、バス事業者、運送業者、地域外企業		

## 2. 第3回意見聴取の概要

### 2) 意見聴取の方法・対象者と回収率

調査種別	対象者	実施期間	対象地区・団体等	配布件数	回収件数	回収率	
アンケート	地域住民	益田市 旧田万川町・須佐町 その他 WEBアンケート 合計	令和2年3月19日～ 令和2年5月11日	益田市(旧益田市)	19,707	1,693	9.5%
				萩市(旧田万川町・須佐町)	2,334	419	18.6%
				住所の記載がないもの、その他	—	29	—
				浜田河川国道事務所等のHPIにWEBアンケートを掲載	—	185	—
				合計	—	—	22,041
	事業所	事業所 その他 WEBアンケート 合計	令和2年3月19日～ 令和2年5月11日	益田市(旧益田市)、萩市(旧田万川町・須佐町)	1,986	271	13.6%
				住所の記載がないもの、その他	—	17	—
				浜田河川国道事務所等のHPIにWEBアンケートを掲載	—	10	—
				合計	—	—	1,986
	道路利用者	常設 WEBアンケート インタビュー調査 合計	令和2年3月19日～ 令和2年5月11日	浜田市、益田市、津和野町、萩市、阿武町の官公庁、 浜田河川国道事務所、山口河川国道事務所、道の駅	—	1,680	—
				浜田河川国道事務所等のHPIにWEBアンケートを掲載	—	213	—
			令和2年7月22日(平日) 令和2年7月24日(休日)	休日:道の駅14箇所、観光地7箇所 平日:道の駅14箇所	—	1,258	—
				合計	—	—	—
	合計	—	—	—	—	5,775	—
	ヒアリング	関係自治体	令和2年6月～ 令和2年7月	沿線地域の自治体		17	団体・企業
		警察署・消防署・病院・介護施設		警察署・消防署・病院(2次医療施設)		5	団体・企業
農協		農協関連			2	団体・企業	
漁業		漁業関連			2	団体・企業	
森林組合		森林組合			1	団体・企業	
商工会議所		商工会議所			2	団体・企業	
観光協会		観光協会			4	団体・企業	
地元企業		農業・畜産業・林業・観光業			4	団体・企業	
工業団地		石見臨空ファクトリーパーク			8	団体・企業	
ドライバー		運送会社・バス会社			3	団体・企業	
地域外企業		地域外企業			5	団体・企業	
合計		—		—	—	53	団体・企業

# 2. 第3回意見聴取の概要

## 3) 意見聴取の実施状況

### ■ 郵送アンケート

※対象地域の住民、事業所へ郵送配布

【回答はがき】

手続きの今後の流れ

郵送アンケートの今後の流れ

郵送アンケートの今後の流れ

▲アンケート回答はがき

### ■ WEBアンケート実施

計画検討に関する第3回アンケート「山陰道(須子～田方川)の計画に向けて」

山陰道(須子～田方川)の計画に向けて

山陰道(須子～田方川)の計画に向けて

山陰道(須子～田方川)の計画に向けて

▲WEBアンケート画面

### ■ 常設アンケート

※道の駅、官公庁等計40箇所を設置



▲設置状況(山口県萩土木建築事務所)

### ■ インタビュー調査

※道の駅、観光施設等21箇所を実施



▲実施状況(道の駅ゆとりパークたまがわ)



▲実施状況(松陰神社)

### ■ 意見聴取の広報状況

#### ・新聞広告

国土交通省からのお願い

山陰道(須子～田方川)の道路計画

第3回 アンケート調査

「小浜～田方川」の対策案について

アンケート実施期間 令和2年3月19日～5月11日(月)まで

アンケート調査の目的

アンケート調査の方法

アンケート調査の留意点

アンケート調査にご協力をお願いします!

http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/sumidai/

▲新聞により配布する折込広告

#### ・広報誌(市報)

はぎ 4月号

山陰道(益田市須子～田方川間)アンケート調査にご協力を!

5/11日まで

須子～田方川間のうち、小浜～田方川間の対応方針(案)について、皆さんのご意見をお聞かせください。

◎田方川・須生地域にお住まいの方・事業者の方  
ご自宅や事業所にてアンケート用紙が郵送されます。

◎道路利用者の方  
市内道の駅・市役所本庁・各総合事務所にてアンケート用紙を設置しています。

◎どなたでもアンケートに回答できます。  
国土交通省 HP ▶

国土交通省 中国地方整備局  
浜田河川国道事務所 調査設計課 ☎0855-22-2480

▲広報はぎ 2020年4月号

#### ・ケーブルテレビ

つなげよう山陰道

～アンケートにご協力ください～

郵便で配達される封筒に入っているハガキに回答を記入してポストに投函(5月11日まで)

益田市ケーブルテレビ

▲益田市ケーブルテレビ

#### ・ホームページ、SNS

島根県

山陰道(須子～田方川)の計画に関する第3回アンケート調査にご協力を!

山陰道(須子～田方川)の計画に関する第3回アンケート調査を実施しています。

山陰道(須子～田方川)の計画に関する第3回アンケート調査にご協力を!

島根県HP

サイトと連携

メディア

いいね

益田市政企画課広報係 @Fresh.masudaNOW 3月30日

益田市から山口県側に伸びる山陰道(須子～田方川)が計画されています。このうち、小浜から田方川の間について国土交通省がアンケート調査を実施しています。このアンケート調査は、山陰道の整備計画に地域の皆さんの声を反映させるための大変重要な調査です。アンケートのご協力をお願いします。

▲SNS

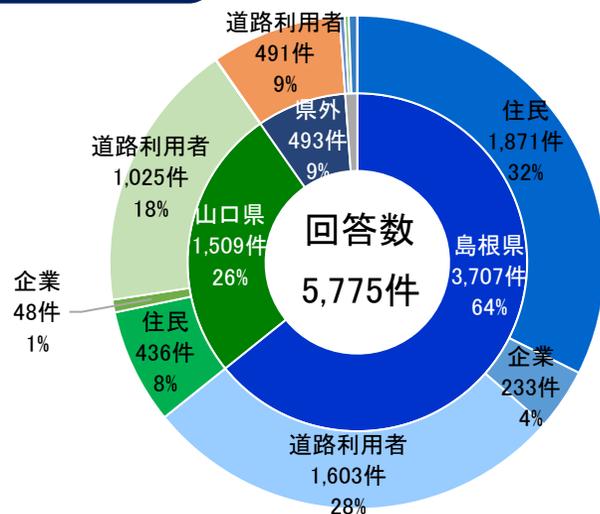
## **3. 第3回意見聴取の結果**

# 3. 第3回意見聴取の結果

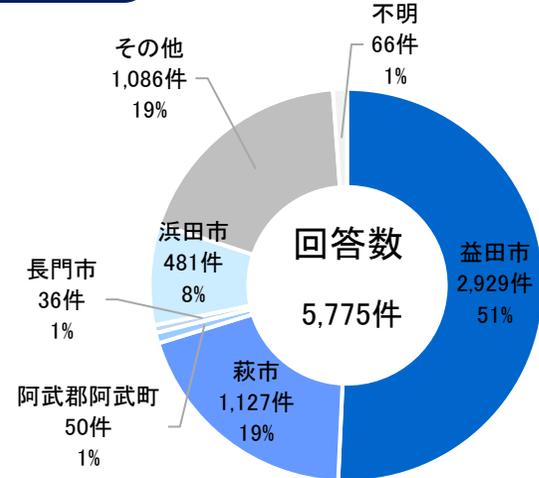
## 1) アンケート回答者属性

- 住民約2,300人、道路利用者約3,200人、事業所約300社から合計約5,800件の意見聴取を実施。
- 回答者のうち、益田市からの回答が約5割を占める。
- 回答者の約7割が男性。50代以上が約6割を占める。

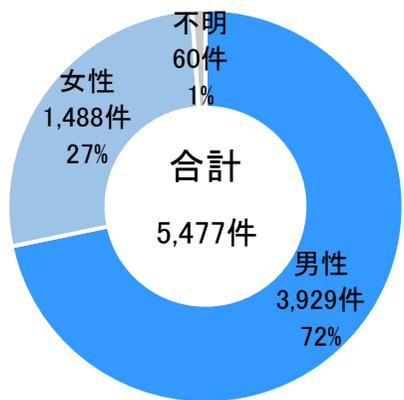
アンケート回収状況



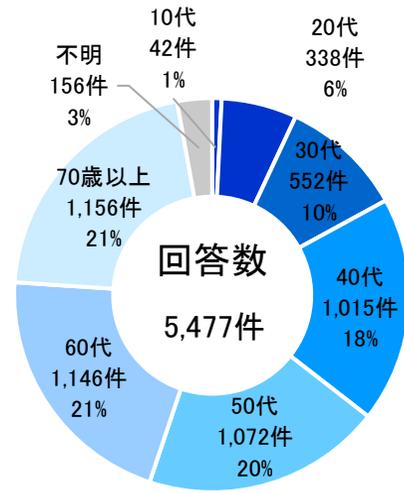
回答者住所



回答者性別



回答者年齢



※事業所は、性別・年齢に回答していないため、回答数（総数）が異なる

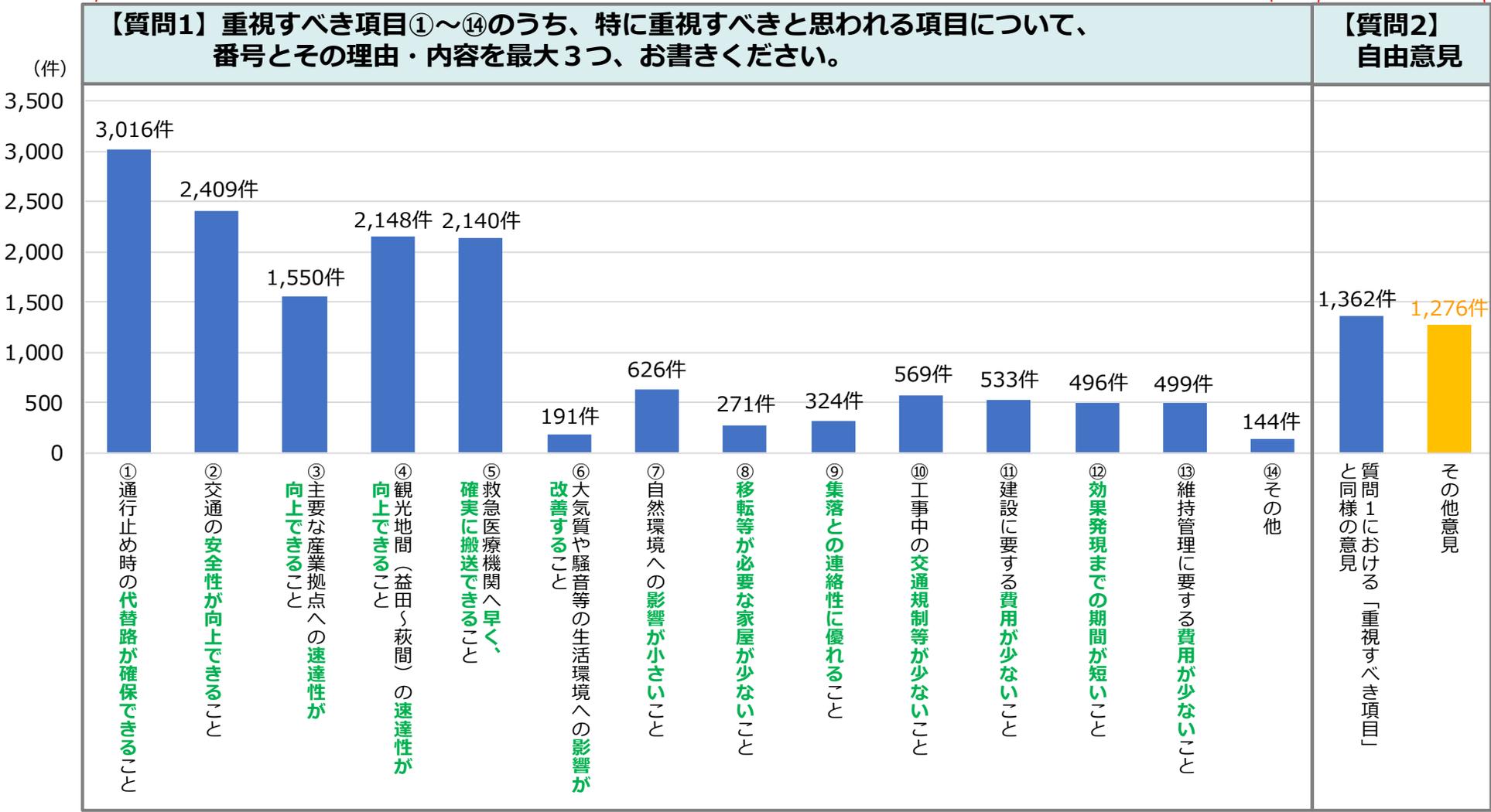
# 3. 第3回意見聴取の結果

## 1) アンケート回答内容の概要

○アンケート回答結果では、「特に重視すべきと思われる項目」に対しての回答が多いものの、自由意見において約1,300件の「その他意見」も頂いた。

合計14,916件

合計2,638件



※質問1は複数回答のため、①～⑭全項目の回答件数合計は総回答者数の5,775人と一致しない。  
 ※質問2は自由回答であり複数回答があるため、全項目の回答件数合計は総回答者数の2,012人と一致しない。

# 3. 第3回意見聴取の結果

## 2) 質問①特に重視すべき項目

- 対策案を検討する際に重視すべきだと思う項目について、回答属性に共通して「道路整備による効果・改善点」に挙げた項目を重視する声が多く、中でも「①通行止め時の代替路が確保できること」、「②交通の安全性が向上できること」を重視する声が多い。
- 上記に加え、事業所は「③主要な産業拠点への速達性が向上できること」も重視する声が多い傾向が見られる。
- 「⑭その他」の項目は少なく、アンケートで設定した項目により、特に重視する項目を確認することができる。

【質問1】 重視すべき項目①～⑭のうち、特に重視すべきと思われる項目について、番号とその理由・内容をお書きください。

特に重視すべきと思われる項目		全体 (回答数:5,505票)			
		住民 (回答数:2,130票)	企業 (回答数:272票)	道路利用者 (回答数:3,103票)	
道路整備による効果・改善点	① 通行止め時の代替路が確保できること。(3,016件)	55%	53%	58%	56%
	② 交通の安全性が向上できること。(2,409件)	44%	39%	36%	47%
	③ 主要な産業拠点への速達性が向上できること。(1,550件)	28%	27%	37%	28%
	④ 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。(2,148件)	39%	38%	40%	40%
	⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。(2,140件)	39%	44%	44%	35%
配慮すべき点	⑥ 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。(191件)	3%	3%	3%	4%
	⑦ 自然環境への影響が小さいこと。(626件)	11%	11%	7%	12%
	⑧ 移転等が必要な家屋が少ないこと。(271件)	5%	8%	6%	3%
	⑨ 集落との連絡性に優れること。(324件)	6%	7%	6%	5%
	⑩ 工事中の交通規制等が少ないこと。(569件)	10%	11%	13%	10%
	⑪ 建設に要する費用が少ないこと。(533件)	10%	11%	10%	8%
	⑫ 効果発現までの期間が短いこと。(496件)	9%	10%	8%	8%
	⑬ 維持管理に要する費用が少ないこと。(499件)	9%	11%	11%	8%
⑭ その他(144件)	3%	3%	1%	3%	

※質問1に回答した人を対象に集計しているため、全回答者数5,775人と一致しない。割合は、質問1の回答票数(例えば全体の場合:5,505票)に対する各項目回答割合を示している。

# 3. 第3回意見聴取の結果

## 2) 質問①特に重視すべき項目 (理由・内容)

項目		回答数※	選定した理由・内容の分類	主な意見
道路整備による効果・改善点	① 通行止め時の代替路が確保できること。	3,016 (1,684)	災害・事故 (619)	近年大きな災害が多い。 <b>命と生活を守る</b> 為にも代替道路が一番必要。(事業所/益田市/その他サービス業) 災害時に通常利用している道路が利用できないのは困る。国道191号が通行止めとなった場合には、広島方面からきてもらえない。時間短縮よりも <b>安定的に走行できる代替路確保が重要</b> である。(事業所/益田市/製造業)
			代替路全般 (1,065)	<b>代替路の確保は高速ネットワークを形成する上で必須</b> 。人口の少ない島根県西部のみ道路拡幅の整備などはおかしい。(住民/益田市/男性/40歳代) 山口方面、九州方面に行く時はR9号に頼り過ぎている為、片側一車線なのに車両が集中する。 <b>代替路がない為通行止め時は完全にストップしてしまう</b> 為(道路利用者/益田市/男性/50歳代)
	② 交通の安全性が向上できること。	2,409 (1,233)	道路構造 (326)	道路の平面線形が悪く、勾配もきつい箇所もあるうに、車道幅も狭いので、 <b>運転しやすい安全な道路を望む</b> 。(住民/益田市/男性/60歳代) <b>道路自体、カーブが多くて時々、対向車がセンターラインを越えて来る事があり、事故が起こりそうになる</b> 。(住民/益田市/男性/50歳代)
			安全性全般 (907)	<b>自動車専用道であれば歩行者やバイク等の接触事故を防げる</b> 。現道で事故があった場合も代替路がある。(ヒアリング/郵便局) <b>今までも結構事故が多いので、安全に通行できるようになると良いな</b> と思います。(住民/萩市/女性/30歳代)
	③ 主要な産業拠点への速達性が向上できること。	1,550 (776)	産業振興 (275)	道路を整備して <b>多くの企業に来ていただき、雇用を増やし産業を発展させ、経済がよりよく循環する</b> 事が一番大事。その為に高速道と国営農地、ファクトリーパークの誘致をセットで行うべき。(住民/益田市/男性/60歳代)
			企業誘致 (81)	益田の <b>工業団地へのアクセス道路になるので、企業誘致は進めやすい</b> 。(住民/益田市/男性/60歳代)
			産業全般 (420)	<b>速達性が向上することで、ビジネスにスピード化が生まれる</b> 。時間の効率的観点から利益にも直結する(住民/益田市/男性/50歳代) 経済を支える地域企業の物流は今後より一層求められ、 <b>物流の速さ・便利さが向上していかなければ地域経済により格差が生まれる</b> のが懸念される。(ヒアリング/自治体)
	④ 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。	2,148 (1,238)	石見空港 (200)	観光地萩市への重要道路なので、 <b>石見空港利用の観光客増大の観点からも時間短縮の必要</b> が求められると思う。(住民/益田市/男性/60歳代)
			観光振興 (602)	<b>観光をするにあたって、わかり易くスムーズな道路は大切である</b> と考える。島根と山口の行き来も多くなるのではと思う。双方にとっても利点だと思う。(道路利用者/浜田市/女性/30歳代)
			観光全般 (436)	レジャーでよく利用するので、 <b>目的地まで早くつくど利用する回数が増える</b> 。(住民/益田市/男性/50歳代) 益田からの道が限られすぎるととても不便。 <b>早く道をつなげて利便性を上げて欲しい</b> 。(住民/益田市/女性/30歳代)
	⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。	2,140 (1,179)	確実性 (699)	<b>大きい医療機関の数が限られている地方都市では、その区間への経路は整備されなければならない</b> と思います。(住民/益田市/男性/50歳代) <b>救急医療機関へ代替路が確保され、事故や水害があっても早く安全に確実に搬送されれば人の命が助かる</b> 。(住民/益田市/男性/70歳代)
			速達性 (480)	救急の場合に一刻を争うということもあるだろう。インターから <b>自動車専用道に乗ったら一般道を通らずに医療機関に到達</b> できるのが良い。(住民/益田市/男性/50歳代) <b>益田市の救急医療機関までのアクセスがとても重要</b> で、少しでも早く到着できる案がいい。(ヒアリング/商工会)

※括弧内は選定した理由・内容の記載数

# 3. 第3回意見聴取の結果

## 2) 質問①特に重視すべき項目 (理由・内容)

項目	回答数※	選定した理由・内容の分類	主な意見
配慮すべき点	⑥	大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。 191 (110)	騒音(37) 周辺住民に騒音などの迷惑をかける事が最小限になる方がよい。(住民/益田市/男性/60歳代)
			大気質(11) 工事によって、ほこり・ちり・砂ぼこり等で体調に変化がおりやすいので配慮して欲しい。(住民/益田市/女性/60歳代)
			生活環境全般(62) 地域の人が安心して暮らせる生活環境を作ることが大切だと思うから(道路利用者/萩市/女性/10歳代)
	⑦	自然環境への影響が小さいこと。 626 (383)	景観風景(61) 日本海側の景観を崩すことなく観光としてやっていける様に工夫すべき。(住民/益田市/女性/50歳代)
			動植物等(35) 生態系への影響を考慮して獣道等の対策を取り動物による事故がないように(住民/益田市/男性/60歳代)
			自然環境(287) 益田も田万川も自然環境に優れている地域である。そこが守られなければ益田・田万川のよさは消滅してしまう。しっかり活かせるものにしてほしい。(住民/益田市/女性/70歳代)
	⑧	移転等が必要な家屋が少ないこと。 271 (162)	過疎化への懸念(17) 移転が少ないということは、補償費用が少なく済む。また移転により集落の戸数が減少することも実態としてあるので、極力移転を減らすコースがよい。(道路利用者/益田市/女性/60歳代)
			移転関連全般(145) 無理に家屋がある所を通らなくても、いっぱい土地はあるので、移転家屋は少なくして欲しい。(住民/益田市/女性/60歳代)
	⑨	集落との連絡性に優れること。 324 (200)	— 単に通過するための道ではなく、そこに暮らす住民の利用があってこそ、整備の価値がある。(住民/萩市/男性/50歳代)
			— 利用しやすくコミュニティ性に優れる道路機能が地域に求められていると考える(住民/益田市/男性/60歳代)
	⑩	工事中の交通規制等が少ないこと。 569 (324)	— 工事中の規制が多いと、日常的に利用する人にとっては不便になる。(住民/浜田市/女性/40歳代)
			— 工事期間が長くなるとされる。なるべく規制は少ない方がよい。(事業所/浜田市/製造業)
	⑪	建設に要する費用が少ないこと。 533 (333)	— 山の中を道路にすることにより工事費用が少しでも安くなると良いと思う。(事業所/益田市/建設業)
			— 建設費のコスト、用地買収費用の縮小を望みます。(住民/益田市/男性/60歳代)
⑫	効果発現までの期間が短いこと。 496 (316)	地域活性化(43) 地域の状況は過疎化、高齢化等で危機的状況であり、一刻も早い整備が望まれる。(住民/益田市/男性/60歳代)	
		早期整備全般(273) 早期着工、早期開通が何より望まれ、このことにより高速道路の効果が一層増すものとする。(住民/益田市/男性/70歳代)	
⑬	維持管理に要する費用が少ないこと。 499 (320)	— 維持管理に要する費用が少ないこと。将来を見据え、災害にも強い設計・施工が肝要であると考えます。(住民/萩市/男性/70歳代)	
		— 高速道の敷地は広大で、トンネル・橋梁も多数あり、維持・管理は相当な人・物・金が必要と思います。材料・工法・設計・耐用年数等よく検討し、長期的なコスト低減となるようにされたい。(道路利用者/松江市/男性/60歳代)	
その他	⑭	その他 144 (140)	— 災害があった時などに仮休憩所、温泉、施設といった道の駅らしい物を作り、避難所などに利用する。(住民/益田市/男性/60歳代)
			— 公共交通機関が路線や運行本数を減少させる中、自動車による移動が多くなる。高速道路が整備されることで、行動範囲・選択肢の幅が広がる。(道路利用者/阿武郡阿武町/男性/40歳代)
			— 地域産業振興になるサービスエリアの設置。話題になるようなSA設置による集客によって保守費用等の補填に(道路利用者/不明/男性/50歳代)

※括弧内は選定した理由・内容の記載数

# 3. 第3回意見聴取の結果

## 3) 質問①特に重視すべき項目（自治体ヒアリング結果）

○自治体からは、「代替路の確保」や「救急搬送の確実性」、「産業の活性化」、「観光の速達性」、「安全性・走行性の向上」などに関する意見が寄せられている。

### 自治体の主な意見（ヒアリング）

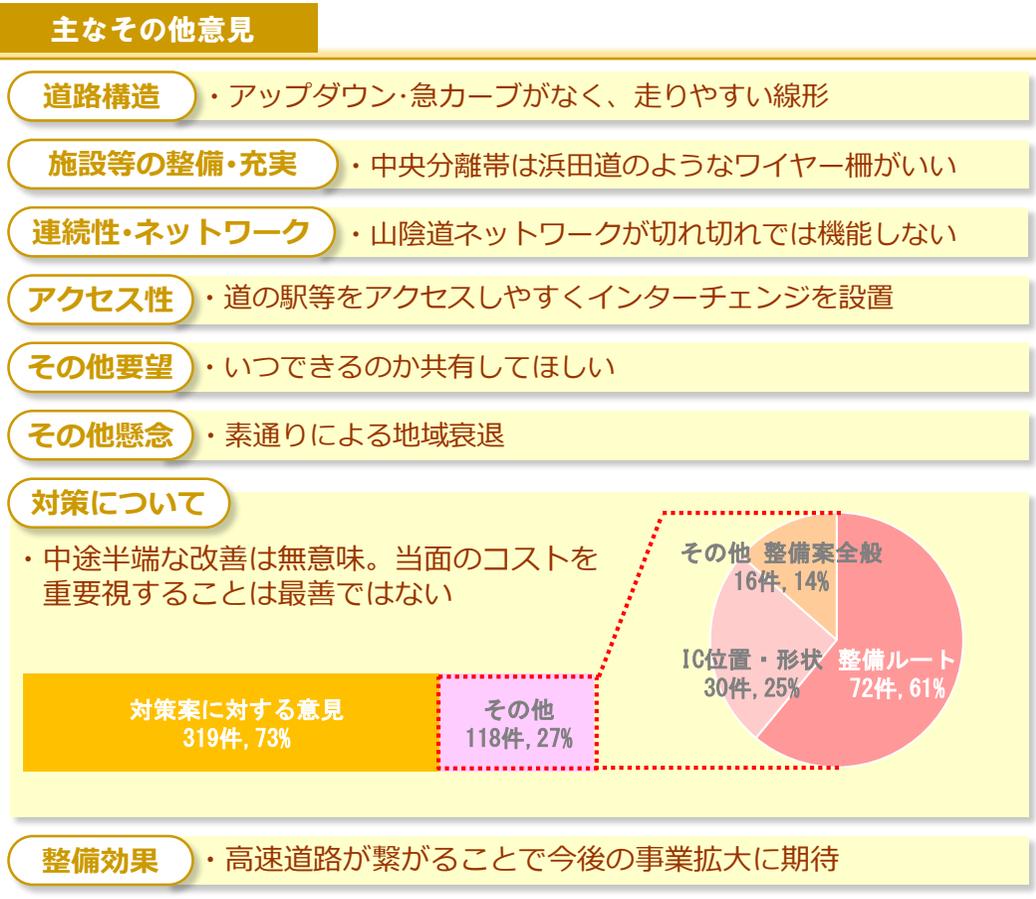
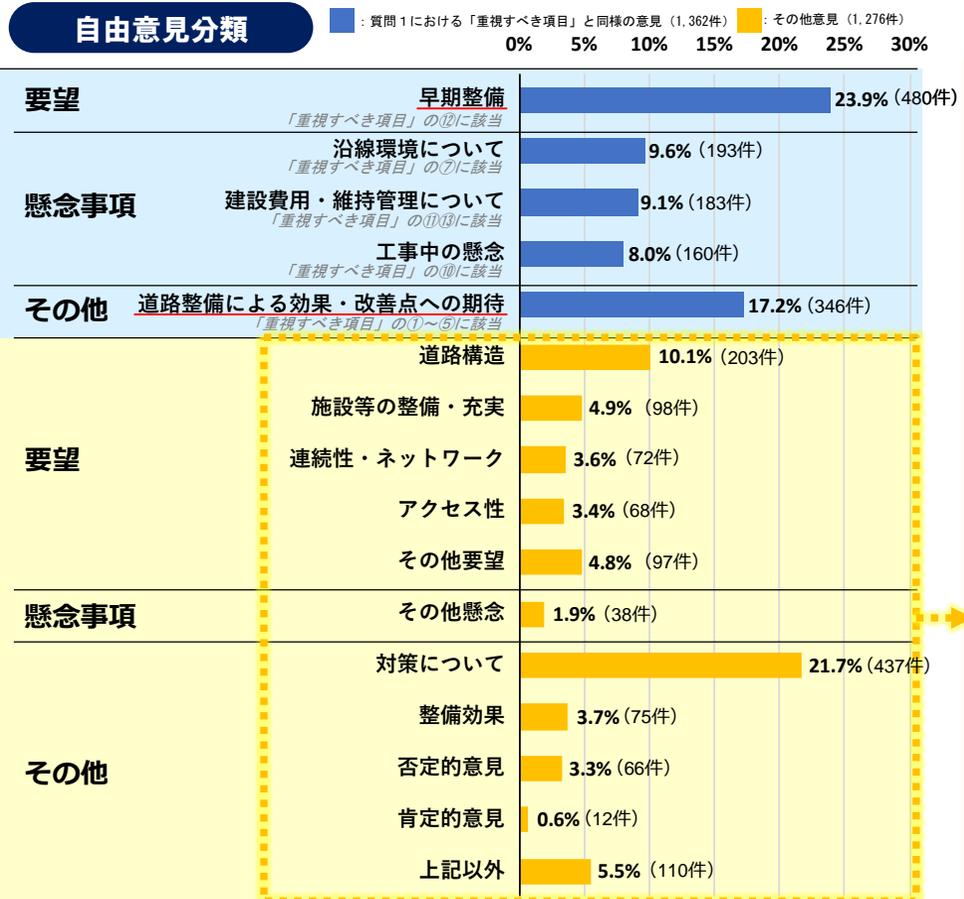
自治体	主な意見
島根県	<p>○<u>代替路の確保</u> この区間は迂回路がないため、防災上の観点からも代替路として機能する案がよい。</p> <p>○<u>観光の速達性</u> 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上すれば、広域的な観光周遊が可能となり、萩・石見空港の利用促進、沿線地域の活性化に繋がる。</p> <p>○<u>産業の活性化</u> 自動車専用道路が県境を跨いで繋がることで、移動時間の短縮などにより石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致も進む。</p> <p>○<u>その他</u> 山陰道として自動車専用道路であることが重要。一部の区間が自動車専用道路ではないことは望ましくない。</p>
山口県	<p>○<u>代替路の確保</u> 国道191号には代替路がなく、災害や事故等による通行止めの際には大きな迂回を要することから、代替路の確保は特に配慮すべき事項と考える。</p> <p>○<u>観光の速達性</u> 山陰地域のさらなる振興につなげていくためには、広域交通拠点である萩・石見空港とのアクセス性の向上や島根県益田市や津和野町等を含めた山陰地域一帯の周遊性の向上を図ることが重要であると考えていることから、特に配慮すべき事項と考える。</p> <p>○<u>救急搬送の確実性</u> 萩市須佐地区、田万川地区及び阿武地区など、救急搬送に時間を有する地域が存在しており、救急医療機関への搬送時間短縮が大きな課題である。益田市内の救急医療機関への搬送時間が短縮されれば、本県の救急医療体制の強化に繋がるため、特に配慮すべき事項と考える。</p>
益田市	<p>○<u>代替路の確保</u> 道路が寸断されると、大回りしないといけないため、隣町でも行き来がしにくくなる。</p> <p>○<u>安全性・走行性の向上</u> 益田市は自転車の町で幅広い目標を持った推進計画を作成し、イベントや競技面に力を入れている。バイパスルートを作ると大型車が減ると自転車の人も安心できる。安心したサイクリングコースの案内ができる。</p> <p>○<u>観光の速達性</u> 益田だけではなく面的に、津和野、萩を含めて観光に来てもらうために、3地点の速達性が向上し、時間短縮されるとありがたい。速やかに整備してほしい。益田、津和野、萩のトライアングルをアピールできるようにしたい。</p> <p>○<u>産業の活性化</u> 益田市では、福岡、広島に支店を持つ新たな企業進出があった。西日本エリアに展開する企業にとって高速道路が繋がるとメリットがある。萩・石見空港があるメリットを活かし、首都圏の企業を企業誘致のターゲットにしている。</p> <p>○<u>工事の影響</u> 市道はあるが大型車は通行できず迂回路がないため、工事中の交通規制が少ないことが重要である。</p>
萩市	<p>○<u>代替路の確保</u> 災害時において、萩市と益田市の両市の救援等、アクセス道の確保が必要。また、道の駅ゆとりパークたまたがわは災害拠点でもあり重要である。</p> <p>○<u>産業の活性化</u> 萩市としては、石見臨空ファクトリーパークとの物流におけるつながりを期待したいところであり、山陰道が萩市まで繋がれば相乗効果が生まれる。</p> <p>○<u>観光の速達性</u> 萩市の観光は主産業である。萩・石見空港と都市部をより短時間で結ぶことができるとよい。</p> <p>○<u>救急搬送の確実性</u> 東部地域(須佐・田万川)は生活面で益田市への依存度が高く、益田日赤病院への搬送は時間の短縮が可能となることから、自動車専用道路を整備してもらいたい。</p>

# 3. 第3回意見聴取の結果

## 4) 質問②道路整備をすることによる懸念事項、配慮事項等の自由意見

- 自由意見についてはアンケートで設定した「重視すべき項目」と同様の意見が多数であり、その中でも「効果の早期発現」「道路整備による効果・改善点」等に関する意見が多い。
- 上記以外では「対策について」の意見が多い。
- その他の意見として「地域の主要施設へのアクセス性」「沿道の衰退を危惧」「中途半端な対策は無意味」「高速道路が繋がることで今後の事業拡大に期待」等の様々な観点の意見が得られた。

【質問2】道路整備をすることによる懸念事項や配慮した方が良くと思う事項について意見などありましたら、ご自由にお書きください。



※総回答者数5,775人のうち質問2の回答票数(2,012票)に対する割合である。  
 ※質問2は自由回答であり複数回答があるため、全項目の意見数合計は質問2の回答票数の2,012票と一致しない。

# 3. 第3回意見聴取の結果

## 4) 質問②道路整備をすることによる懸念事項、配慮事項等の自由意見

■自由意見（要望） ■：その他意見 ■：質問1における「重視すべき項目」と同様の意見

項目	主な意見
道路構造【203件】	アップダウンを少なくして欲しい。なるべく急カーブが少ない方が良い。(住民/益田市/女性/50歳代) 高速道路整備後でも当面2車線が続くものと思われる。その考えをベースとすると2車線道路幅の拡大と追い越し車線の拡充を目指すべきだと思います。(住民/益田市/男性/50歳代)
施設等の整備・充実【98件】	対面通行になると思いますが、正面衝突事故のリスクを少しでも回避できる対策をお願いします。浜田道のようなワイヤー柵。(道路利用者/浜田市/男性/60歳代) 沿岸道路の防風対策。(道路利用者/浜田市/男性/30歳代)
連続性・ネットワーク【72件】	山陰道にミッシングリンクが生じる事は、生活・経済活動を活性化する動機付けの機会を失ってしまう。専用道路が確保される事が重要。(道路利用者/萩市/男性/60歳代) 空港や港湾、都市間を結ぶ道路ネットワークは切れ切れでは機能しない。網目状に繋がる事で、有効に人的物的物流ができる。山陰側のルートがつながることを切に望んでいる。(住民/益田市/男性/60歳代)
アクセシビリティ【68件】	地域の経済・文化の活性化に繋がる道として整備されるようご配慮願います。田万川の場合、田万川道の駅、江崎漁港、JR江崎駅など。(住民/萩市/男性/70歳代) 高速ができた事で素通りによる高速過疎が問題となっています。可能な限り、インターチェンジを主要な町や観光地に設置してもらいたい。(住民/益田市/男性/60歳代)
その他要望【97件】	道の駅等との連携を含め、道路ができたことでその地域の活力が失われないような手立ても同時に進めてほしい。(道路利用者/-/男性/40歳代) 地元住民との対話の機会を増やす。そのさいに期待される効果について詳しく説明を行う。経済界の協力を得ながら事業を進める。(事業所/益田市/建設業) いつまでに整備ができるのかを公表していただければ、将来を見通して、地域の経済的活動が刺激されていくと思われしますので、ご配慮願います。(道路利用者/-/男性/50歳代)
早期整備【480件】	若者に残ってもらえるには産業がしっかりして働く場が必要だと思う。その為にも、山陰道の日も早い開通が必要です。(道路利用者/益田市/男性/70歳代) 山陽側に比べて高速道路がなかなか開通しないために地域がどんどん疲弊してしまうため、早く山陰道を全線開通させてください。ほかの地域と競争できません。(道路利用者/出雲市/男性/40歳代)

■自由意見（懸念事項） ■：その他意見 ■：質問1における「重視すべき項目」と同様の意見

項目	主な意見
その他懸念【38件】	高速道路が出来ることによって、現在ある191号線沿いのお店へのアクセスが減り、過疎が進んでしまうのではないかと心配をされる方は沢山おられると思うので、そういった部分には配慮すべき点だと思います。(道路利用者/浜田市/女性/30歳代) 全線開通後の交通量の増加に対する対策。特に薄暮や夜間の安全性。ガードレール、照明、避難ゾーンの設置等の整備。(住民/萩市/男性/60歳代)
沿線環境について【193件】	日本海の雄大な眺め、海岸線の美しさ、この自然が最大の観光資源である事を考慮しながら、「またこの道路を通ってみたい」と思わせる、印象に残る美しい自然とマッチした道路にしてほしいと思います。(住民/益田市/男性/80歳代以上) 安全性、騒音、自然環境への影響等、難しいこともあるかとは思いますが、配慮して進めていって欲しいです。(住民/益田市/女性/50歳代)
建設費用・維持管理について【183件】	代替路が確保でき、安全性が向上し、速達性があるが費用が少し多くかかるのが気になる。(住民/益田市/男性/60歳代) 新技術を使用してできるだけ建設コストを削減することと、メンテナンスの手間と費用がかからない道路施設としてほしい。(道路利用者/出雲市/男性/50歳代)
工事中の懸念【160件】	一般道(R191)を交通規制に工事をするのはやめるべき。萩方面への唯一の道路を規制されると経済・観光にマイナスになる。(事業所/益田市/その他サービス業) 工事期間中はどうしても不便になってしまうと思いますが、通勤時間になると困る。未来を見て便利になればと考えればできる我慢だとは思いますが、長期になるとキツイです。(事業所/益田市/医療、福祉業)

### 3. 第3回意見聴取の結果

#### 4) 質問②道路整備をすることによる懸念事項、配慮事項等の自由意見

■自由意見（その他） ■：その他意見 ■：質問1における「重視すべき項目」と同様の意見

項目	主な意見
対策案に対する意見  対策について【437件】  IC位置・形状  その他整備案全般	短期間での効果発現が期待される案Aについて、線形改善・防災対策に加え、現道拡幅、歩道設置を希望する。(住民/益田市/男性/40歳代)
	案A～案Cは、道路整備による効果・改善点はほとんど差はないが、配慮すべき事項において特に費用では格差がある。これほどかける意味があるのか。現道路において危険な場所のみ別のルートを造り、速達性を考えてルートをつなげばよいと思う。(住民/萩市/女性/50歳代)
	厳しい時代になってきて、予算をかけない方が良いのではないかとのお考えも出てきたのですが、災害時の代替路や産業の活性化等、様々な視点から考えた時、費用面や維持管理費よりも経済面、利便性が向上して利点が多いなら、案Cの方で進めて欲しい。中途半端な改善ならやらない方がよいと思った為。(住民/萩市/男性/40歳代)
	191号線は海岸線を走りますが、強風が吹いた場合、波が191号線へ打ち付ける場合もあり、今後は道路は海から遠いほうが良いのではと思っています。海岸線の景色は大変良いですが、今後海の浸食等がすすんでいく可能性があると考えています。(住民/益田市/男性/60歳代)
道路整備による効果・改善点への期待【421件】	地域の維持と医療の保持、町が無くなるよう山奥の人の利便性をもっと考えたルートにしてほしい。(住民/萩市/女性/70歳代)
	自動車道が出来ることで、時短ができて便利であり、また救命、輸送も効果発揮できる反面、地元にある商店等が通過してしまわない様インターの箇所は考えて欲しいです。主要地へのアクセスの良さと反比例して、過疎化した町は産業が成り立たなくなりがちです。(住民/益田市/女性/60歳代)
	国道等から近い場所にICを計画してもらいたい。ICまでの距離が長いと意味が無いと思う。(住民/萩市/男性/80歳代以上)
	当面の整備コストを重要視することは、将来にわたる交通ネックを残すことになり、この地域の社会経済活動の阻害要因を残すことになりかねない。この事を考えるとコスト重要視は得策ではない。「小浜～田万川」間は国道191号とJR山陰線が近接・並走している。災害時には同時被災の懸念があることから、今後の道路整備の際はこのリスクを避けることは必要と考える。(住民/益田市/男性/60歳代)
否定的意見【66件】  肯定的意見【12件】	県境をまたぐため行政間連携が難しい。一方で島根県・山口県それぞれの持つ文化が交わる地域として、新たな魅力創出に期待が出来る。課題として、萩石見空港及び石見臨空ファクトリーパークへの萩市街地からの距離感がある。機能最大化を図るため、須佐・田川地域からの接続を最大限短縮し、企業誘致にあたっての人材確保や、須佐・田万川地域の持つ観光資源の巻き込みが可能。(道路利用者/萩市/男性/40歳代)
	安全で速達性に優れた道路網を整備することで、人の流れ、物流を発展させ経済が活発になると考える。(住民/益田市/男性/不明)
	高速道路が繋がることで経済効果を始め、いろいろな波及効果が期待できる。特に出雲より西の山陰道は無料区間なので、観光や産業振興に大きな効果があると思うので、一日も早く全線開通させてください。九州も近くなります。(道路利用者/安来市/男性/30歳代)
	益田市と萩市の交通がスムーズにできるように、とても重要な道路になるので、建設費が少し高くてもこれからの物流や観光、地域の活性化等を考えるとできるだけ早く整備される必要がある。大都市の道路整備だけでなく地方の小都市の道路整備が重要である。(住民/益田市/男性/70歳代)
上記以外【110件】	業務において田万川方面に行くことはありませんが、道路ができましたら、活用を考えなくてはと思います。(事業所/益田市/金融業・保険業)
否定的意見【66件】	高齢化が急速に進んでいる地域です。この道路の必要性があるのでしょうか。インターまでの距離がありすぎて救急医療機関への搬送に時間を要するのでは。(住民/萩市/男性/60歳代)
肯定的意見【12件】	コストをかけずに重視してしまえば、活かない道路となる。将来に活かせる道路の為にコストをかけた整備が必要。(住民/益田市/女性/60歳代)
上記以外【110件】	20トンを超えるトラックが走っており、トレーラーは40トン超えが走っており、道路の傷みが多いので道路法に基づく重量取り締まりを徹底してください。(住民/益田市/男性/60歳代)
上記以外【110件】	通行止め時は海上での臨時ルートを考える等で陸上ルートにこだわらない柔軟な発想で検討をしていただける事を期待します。(住民/益田市/男性/40歳代)

# 3. 第3回意見聴取の結果

## 5) まとめ

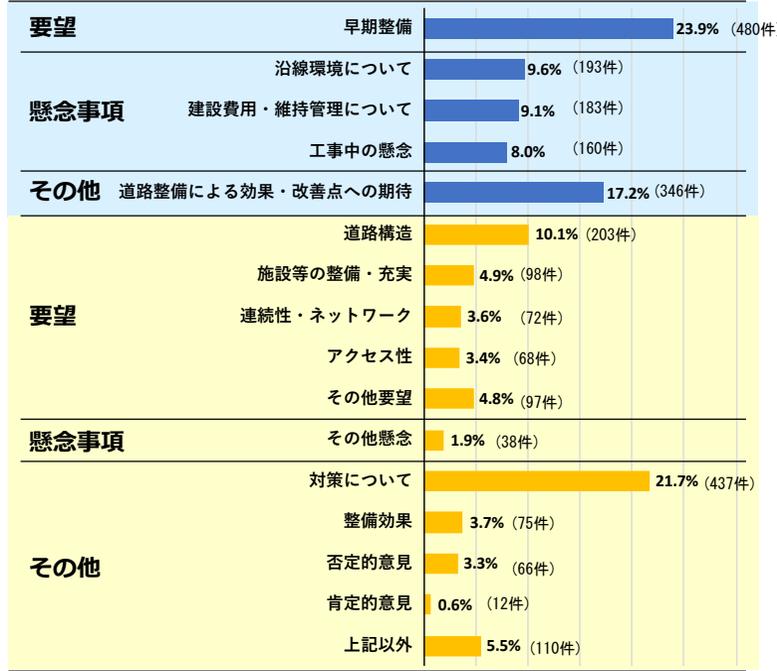
- 重視すべき項目において、「道路整備による効果・改善点」に関する意見が多く、その中でも、「①通行止め時の代替路の確保」、「②交通の安全性が向上できること」について重視する声が比較的多い。
- 自由意見においては、アンケートで設定した「重視すべき項目」と同様の意見が多数あり、その中でも「効果の早期発現」や「道路整備による効果・改善点」に関する意見が多い。
- その他の意見として「沿道の衰退を危惧」、「地域主要拠点へのアクセス性」、「中途半端な対策は無意味」、「高速道路が繋がることで今後の事業拡大に期待」等の様々な観点の意見が得られた
- 自治体からは「道路整備による効果・改善点」に関する意見が多く寄せられている。

### 質問①特に重視すべき項目

特に重視すべきと思われる項目	全体 (回答数:5,505票)			
	住民 (回答数:2,130票)	企業 (回答数:272票)	道路利用者 (回答数:3,103票)	
① 通行止め時の代替路が確保できること。(3,016件)	55%	53%	58%	56%
② 交通の安全性が向上できること。(2,409件)	44%	39%	36%	47%
③ 主要な産業拠点への速達性が向上できること。(1,550件)	28%	27%	37%	28%
④ 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。(2,148件)	39%	38%	40%	40%
⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。(2,140件)	39%	44%	44%	35%
⑥ 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。(191件)	3%	3%	3%	4%
⑦ 自然環境への影響が小さいこと。(626件)	11%	11%	7%	12%
⑧ 移転等が必要な家屋が少ないこと。(271件)	5%	8%	6%	3%
⑨ 集落との連絡性に優れること。(324件)	6%	7%	6%	5%
⑩ 工事中の交通規制等が少ないこと。(569件)	10%	11%	13%	10%
⑪ 建設に要する費用が少ないこと。(533件)	10%	11%	10%	8%
⑫ 効果発現までの期間が短いこと。(496件)	9%	10%	8%	8%
⑬ 維持管理に要する費用が少ないこと。(499件)	9%	11%	11%	8%
⑭ その他(144件)	3%	3%	1%	3%

### 質問② 懸念事項 配慮事項

■ : 質問1における「重視すべき項目」と同様の意見(1,362件)  
 ■ : その他意見(1,276件)



### 質問①特に重視すべき項目の自治体の主な意見 (ヒアリング)

代替路に関する意見	○この区間は迂回路がないため、防災上の観点からも代替路として機能する案がよい。(山口県) ○災害時において、萩市と益田市の両市の救援等、アクセス道の確保が必要。また、道の駅ゆとりパークたまがわは災害拠点でもあり重要である。(萩市)
安全性・走行性に関する意見	○益田市は自転車の町で幅広い目標を持った推進計画を作成し、イベントや競技面に力を入れている。バイパスルートを作って大型車が減ると自転車の人も安心できる。安心したサイクリングコースの案内ができる。(益田市)
産業活性化に関する意見	○自動車専用道路が県境を跨いで繋がることで、移動時間の短縮などにより石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致も進む。(島根県) ○益田市では、福岡、広島に支店を持つ新たな企業進出があった。西日本エリアに展開する企業にとって高速道路が繋がるとメリットがある。萩・石見空港があるメリットを活かし、首都圏の企業を企業誘致のターゲットにしている。(益田市)
観光に関する意見	○山陰地域のさらなる振興につなげていくためには、広域交通拠点である萩・石見空港とのアクセス性の向上や島根県益田市や津和野町等を含めた山陰地域一帯の周遊性の向上を図ることが重要であると考えていることから、特に配慮すべき事項と考える。(山口県) ○萩市の観光は主産業である。萩・石見空港と都市部をより短時間で結ぶことができるとよい。(萩市)
救急医療に関する意見	○萩市須佐地区、田万川地区及び阿武地区など、救急搬送に時間を有する地域が存在しており、救急医療機関への搬送時間短縮が大きな課題である。益田市内の救急医療機関への搬送時間が短縮されれば、本県の救急医療体制の強化に繋がるため、特に配慮すべき事項と考える。(山口県) ○東部地域(須佐・田万川)は生活面で益田市への依存度が高く、益田日赤病院への搬送は時間の短縮が可能となることから、自動車専用道路を整備してもらいたい。(萩市)

### その他意見

- 主要拠点(道の駅)へのアクセス性
- 中途半端な対策は無意味
- 素通りによる地域衰退への懸念
- 高速道路が繋がることで今後の事業拡大に期待

## 4. 対応方針（案）の検討

# 4. 対応方針（案）の検討

## 1) ルート帯（案）の概要



※ルート帯（幅500m）に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮する。

- :【案A】現道の線形不良区間の解消及び要防災対策箇所の対策を行う案
- :【案B】構造不良箇所の連続区間をショートバイパスで回避し、その他区間を現道拡幅する案
- :【案C】小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案

# 4. 対応方針（案）の検討

## 2) ルート帯（案）の比較・評価

○【案C:小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案】は全ての政策目標の達成が見込める。  
 ○地域のニーズに対しては、意見聴取において重視すべきと回答が多かった「代替路の確保」「安全性・走行性の向上」、また、ヒアリングにより把握した自治体が重要視する「代替路の確保」「救急搬送の確実性」「産業の活性化」のいずれの項目についても【案C:小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案】が他案に比べ優れている。

評価の項目	評価指標	重視すべきと回答した方の割合	案A	案B	案C	
			現道の線形不良区間の解消及び暴雨対策箇所対策を行う案 延長 約0.7km (現道改良延長)	構造不良箇所の連続区間をショートバイパスで回避し、その他区間を現道拡幅する案 延長 約7.5km (新設BP:4.5km、現道拡幅3.0km)	小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案 延長 約6.9km (新設BP:6.9km)	
「政策目標」に対する評価	① 通行止め時のネットワークの確保	55%	×	△	○	
	② 安全性・走行性の向上	44%	△	○	○	
	③ 産業の活性化	28%	×	○	○	
	④ 観光振興の促進	39%	×	○	○	
	⑤ 救急医療機関への速達性・確実性の向上	39%	×	△	○	
配慮すべき事項	⑥ 生活環境	3%	×	△	○	
	⑦ 自然環境	11%	○	△	△	
	生活への影響	⑧ 移転などが必要な家屋数	5%	○	△	△
		⑨ 集落との連絡性	6%	×	×	○
	工事の影響	⑩ 現道交通等への影響	10%	△	△	○
		経済性・早期整備への配慮	⑪ 建設に要する費用	10%	○	△
	⑫ 効果発現の期間		9%	○	△	△
	維持管理への配慮	⑬ 維持管理に要する費用	9%	○	△	△

○：改善・満足する/最も影響が少ない    △：一部改善・満足する/少なからず影響がある    ×：課題が残存又は他案より劣る/影響が大きい  
 ※重視すべきと回答した方の割合は複数回答のため、合計が100%とならない。

# 4. 対応方針（案）の検討

## 3) 対応方針（原案）

○全ての政策目標の達成が見込め、地域ニーズの高い「通行止時のネットワーク確保」、「安全性・走行性の向上」などにおいて優れた効果が期待され、総合的に優れた【案C:小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案】を対応方針（原案）とする。



※ルート帯（幅500m）に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮する。

### 【計画ルートの考え方】

国道191号の災害や事故などの現道課題を回避し、観光拠点のアクセスおよび救急医療の速達性・確実性を考慮した、現道と完全に異なる道路ネットワークとなる別線バイパスルート

## 5. 自治体への意見照会結果

# 5. 自治体への意見照会結果

## 1) 自治体への意見照会 [対応方針 (原案) に対する意見]

### 島根県

#### 意見

島根県は、山陰道(小浜～田万川)[以下、当該道路]における対応方針(原案)について同意します。

島根県では、希望と活力に満ちた新時代「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を目指して島根創生に取り組んでおり、その基盤となる山陰道の早期全線開通は県民の悲願です。

また、当該道路は、線形不良や幅員狭小などの現道の課題を解消し、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築による国土強靱化を推進する上でも重要な道路であり、その早期整備が不可欠です。

島根県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、事業の円滑な推進に向けて、地元益田市と連携し、用地取得や地元調整をはじめ、工事に伴い必要となる道路の検討・整備に取り組んでまいります。

さらには、山口県や沿線市町と一体となって、山陰道整備後を見越した広域的な観光や産業の振興を推進してまいります。

つきましては、当該道路の一日も早い事業化をお願いします。

高推第 38 号  
令和2年11月16日

国土交通省  
中国地方整備局長 小平 卓 様

島根県知事 丸山 達也  
(土木部高速道路推進課)



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答)

平素から島根県の道路行政の推進につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

令和2年11月16付け国中整道計第19号で照会のあったこのことについては、下記のとおりです。

#### 記

島根県は、山陰道(小浜～田万川)[以下、当該道路]における対応方針(原案)について同意します。

島根県では、希望と活力に満ちた新時代「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を目指して島根創生に取り組んでおり、その基盤となる山陰道の早期全線開通は県民の悲願です。

また、当該道路は、線形不良や幅員狭小などの現道の課題を解消し、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築による国土強靱化を推進する上でも重要な道路であり、その早期整備が不可欠です。

島根県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、事業の円滑な推進に向けて、地元益田市と連携し、用地取得や地元調整をはじめ、工事に伴い必要となる道路の検討・整備に取り組んでまいります。

さらには、山口県や沿線市町と一体となって、山陰道整備後を見越した広域的な観光や産業の振興を推進してまいります。

つきましては、当該道路の一日も早い事業化をお願いします。

## 5. 自治体への意見照会結果

### 1) 自治体への意見照会 [対応方針（原案）に対する意見]

#### 山口県

#### 意見

山陰道（小浜～田万川）における対応方針（原案）について同意します。

山陰道（小浜～田万川）は、線形不良や幅員狭小などの現道の課題を解消し、地域の多様な資源を有効に活用した産業・観光の振興や、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築による国土強靱化を推進する上で、重要な道路であり、その早期整備が不可欠です。

山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元萩市と連携して、地元調整など事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性の向上などに繋がるよう、アクセス道路等の検討に取り組んでまいります。

さらには、島根県や沿線市町と一体となって、山陰道整備後を見越した広域的な観光や産業の振興を推進してまいります。

つきましては、当該道路を早期に事業化していただくよう、特段の御配慮をお願いします。



令2道路建設第270号  
令和2年(2020年)11月17日

国土交通省  
中国地方整備局長 小平 卓 様

山口県知事 村岡 嗣政



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

平素から山口県の道路行政の推進につきまして、格別の御高配をいただき厚くお礼申し上げます。

令和2年11月16日付け国中整道計第19号で照会のあったこのことについて、下記のとおり回答します。

記

山陰道（小浜～田万川）における対応方針（原案）について同意します。

山陰道（小浜～田万川）は、線形不良や幅員狭小などの現道の課題を解消し、地域の多様な資源を有効に活用した産業・観光の振興や、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築による国土強靱化を推進する上で、重要な道路であり、その早期整備が不可欠です。

山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元萩市と連携して、地元調整など事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性の向上などに繋がるよう、アクセス道路等の検討に取り組んでまいります。

さらには、島根県や沿線市町と一体となって、山陰道整備後を見越した広域的な観光や産業の振興を推進してまいります。

つきましては、当該道路を早期に事業化していただくよう、特段の御配慮をお願いします。

## 6. 対応方針（案）のまとめ

# 6. 対応方針（案）のまとめ

## 1) 対応方針（案）

### 1. 道路整備の必要性

#### 【理由】

政策目標を達成できる道路整備を検討

#### 【政策目標】

- 通行止め時に機能するネットワークの確保
- 安全性・走行性の向上
- 産業の活性化
- 観光振興の促進
- 救急医療機関への速達性、確実性の向上

- 評価区間付近には、救急医療機関（益田赤十字病院）、観光拠点（萩・石見空港）や産業拠点（石見臨空ファクトリーパーク、国営農地）、地域活性化拠点（道の駅ゆとりパークたまがわ）等があり、各拠点へのアクセス向上や速達性向上が課題となっている。
- 国道191号では、線形・勾配不良箇所が存在や事故・災害発生時による代替性の確保が課題となっている。
- 住民、事業所、道路利用者及び自治体などからは安全で災害時に強い道路や、安全性・走行性の向上へ等が望まれている。

### 2. 対応方針（案）

ルート帯について、【案C：小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案】を対応方針（案）とする。

#### 【理由】

- 意見聴取結果、質問①の重視すべき項目において、通行止め時の代替路確保等の「①～⑤道路整備による効果・改善点」の各項目に多くの意見が寄せられた。一方で、比較的少数ではあるが、自然環境や建設に要する費用等の「⑥～⑬配慮すべき項目」に関する意見もいただいた結果となった。
- よって、【案C】は通行止め時の代替路確保、速達性、確実性、安全性、アクセス性の高い道路ネットワークを形成でき、全ての政策目標の達成が見込めることから、優位性が高く、総合的に優れている。

### 3. その他

- ・ 具体的な道路構造等の検討に際し、質問①で意見が寄せられた、自然環境への影響、事業費・維持管理費のコスト縮減、走りやすさ等に考慮した設計を行うとともに、早期整備に向けた工程管理に努める。
- ・ 質問②懸念事項、配慮事項で寄せられた、地域活性化拠点へのアクセスや道路利用者の利便性等の意見に関しても、インターチェンジの設置箇所や形状の検討に努める。
- ・ また、バイパス整備後に現道の残存課題について地元自治体と一体となって、交通状況の変化等を勘案しながら必要な対応に努める。

# 6. 対応方針（案）のまとめ

## 1) 対応方針（案）

### 4. ルート帯



※ルート帯（幅500m）に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮する。

凡例	
◆集落・市街地	■
◆学校	●
◆公共施設	●
◆神社・仏閣	卍
◆山[標高.m]	▲

凡例	
◆主要施設	■
萩・石見空港	■
国営農地	■
石見臨空ファクトリーパーク	■
道の駅ゆとりパークたまがわ	■

凡例	
■	線形・勾配不良箇所
⊗	要防災対策箇所
×	災害による通行規制発生箇所 (H19~H29)
×	事故による通行止め発生箇所 (H19~H29)
★	死亡事故発生箇所 (H19~H29)
⊗	死傷事故率が全国平均を上回る箇所 (H26~H29)
⊕	速度低下区間 (旅行速度20km/h以下区間)
■	洪水浸水想定区域
+	高次医療施設

凡例	
■	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
■	土砂災害警戒区域(土石流)
■	土砂災害警戒区域(地すべり)